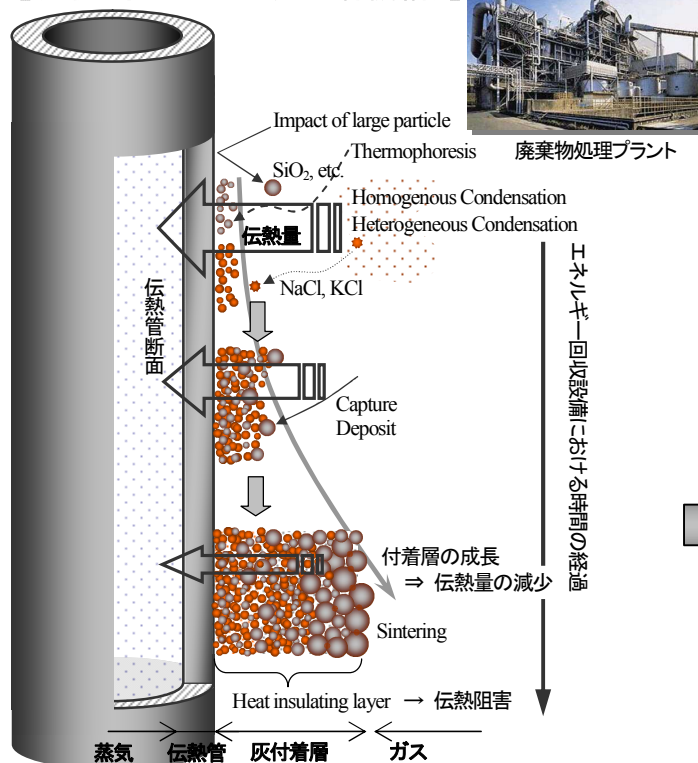
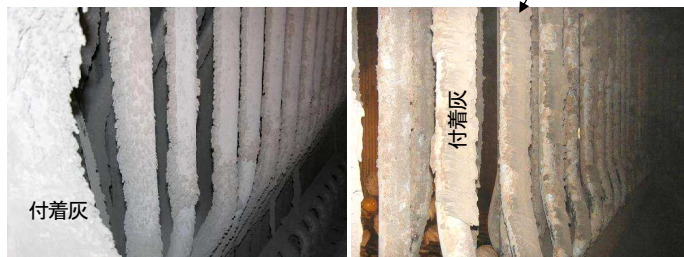


研究概略図 K123011 『伝熱管表面改質技術による廃棄物焼却炉発電効率の革新的向上』

【現状(予想される灰付着機構)】



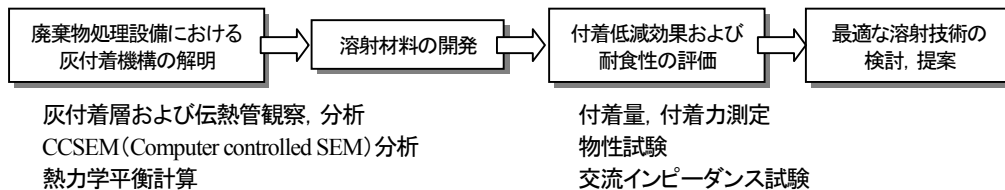
【伝熱管における灰付着の状況】



【現状の課題】

- ✓ 灰付着層の成長による運転障害 → 稼働率低下
- ✓ 灰付着による伝熱障害 → 発電効率低下
- ✓ 灰付着による高温腐食 → 稼働率低下, コスト増

【研究開発内容】



【成果の構想】



提案する技術の開発イメージ
(写真は微粉炭ボイラを対象とした提案者グループが開発した溶射技術)

循環型社会形成へ

